

BLC-200 リモートセットアップ

オペレーション マニュアル

Bits Lan Converter

本製品を正しくご利用いただくために
この説明書をよくお読みください。
また、お読みになりました後もすぐ取り出せる
場所に保管して、必要なときにご活用ください。

 株式会社 **ビットツ**

はじめに

このたびは RS-422・485/LAN 変換アダプタ「BLC-200」（以下、BLC-200）をお求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は「BLC-200 リモートセットアップ」（以下、本ツール）の操作方法について説明しています。

製品それぞれの仕様ならびに外観、各部名称などはそれぞれの取扱説明書を参照してください。本書では、本ツールの概要、一般仕様、インストール手順、操作方法について説明しています。本ツールをお使いになる前には、必ず本書をお読みください。

本書中では、下記オペレーティングシステムをそれぞれ Windows2000、WindowsXP、WindowsVista、Windows7 のように表記します。これらを総称する場合は Windows と表記します。

Microsoft Windows 2000 operating system 日本語版
Microsoft Windows XP operating system 日本語版
Microsoft Windows Vista operating system 日本語 32 ビット版
Microsoft Windows 7 operating system 日本語 32 ビット版

関連ソフトウェアの仕様、および本書に記載されている事項は、予告なしに変更することがあります。関連ソフトウェアおよび本書を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。関連ソフトウェアの著作権・知的所有権は、株式会社ビッツに帰属します。関連ソフトウェアおよび本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられております。
- ・ 本書に記載された内容は予告なく変更する場合があります。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら弊社営業までご一報ください。
- ・ 弊社では、製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、本書の不審点や誤り、記載漏れなどに関わらず、いかなる責任も負いかねますので予めご了承ください。
- ・ 本書に記載される会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

目 次

1	「BLC-200 リモートセットアップ」を使う前に	1
1-1	概 要	1
1-2	システム構成	1
1-3	インストール	1
2	起動と終了	2
2-1	「BLC-200 リモートセットアップ」の起動と終了	2
2-2	メインウィンドウ	4
3	ネットワーク	5
3-1	ネットワーク登録について	5
3-2	ネットワークの新規登録	6
3-3	プロパティ	8
3-4	削除	8
3-5	ネットワークの選択	8
4	管理	9
4-1	実行可能な操作について	10
4-2	レスポンスとタイムアウトについて	11
4-3	検 索	12
4-4	その他の検索	12
(1)	リフレッシュ検索	12
(2)	IP検索	12
4-5	自動設定	14
4-6	個別設定	16
4-7	設定取得	19
4-8	モード変更	20
4-9	アプリケーションダウンロード	21
(1)	個 別	21
(2)	一 括	23
4-10	カーネルダウンロード	26
(1)	個 別	26
(2)	一 括	26
4-11	バージョン情報取得	27
4-12	ファイル情報取得	28
(1)	アプリケーション削除	29
4-13	新規登録	30
4-14	プロパティ	31
4-15	削 除	31
4-16	デフォルトパラメータ設定	32
4-17	初期化	33
5	表 示	34
6	ヘルプ	35
6-1	バージョン情報	35
6-2	ヘルプ	35
7	応答監視タイマの設定	35
8	BLC-200 リモートセットアップの使用例	36

1 「BLC-200 リモートセットアップ」を使う前に

ここでは、「BLC-200 リモートセットアップ」の概要、パッケージ内容、必要なシステム構成および本ツールのセットアップの方法について説明します。

本書内に登場する基本的な操作方法は、Windows の操作方法に準拠しています。

1-1 概 要

本ツールは Windows システム上で動作し、BLC-200 の以下に示すリモートセットアップ機能を使用して、LAN 上に設置された装置を一括管理し、各設定およびアプリケーションプログラムのダウンロードを行ないます。

リモートセットアップ機能

- ① ノード検索機能
ネットワーク上で稼働している BLC-200 を検索します。
- ② 設定取得機能
指定した BLC-200 の現在の設定値を取得します。
- ③ 設定機能
指定した BLC-200 または指定機種にパラメータを設定します。
- ④ モード変更機能
指定した BLC-200 の動作モードを変更し、再起動します。
- ⑤ 初期化機能
BLC-200 の初期化をします。
- ⑥ ダウンロード機能
指定した BLC-200 にプログラムをダウンロードします。
- ⑦ アプリケーション削除機能
指定した BLC-200 のアプリケーションプログラムを削除します。
- ⑧ ファイル情報取得機能
指定した BLC-200 のファイル情報を取得します。

1-2 システム構成

本ツールを使うために必要な、ハードウェアとソフトウェアのシステム構成は以下の通りです。

- ・ Windows2000/WindowsXP/ WindowsVista/Windows7 が正常に動作する PC
- ・ 上記 PC に対応したネットワークカード
- ・ ネットワークプロトコルとして TCP/IP がインストールされ、正常に動作していること

1-3 インストール

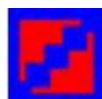
- ① Windows のエクスプローラを起動します。
 - ② ハードディスク上に任意のフォルダを作成します。
 - ③ 作成したフォルダに BLC-200 の CD(添付品)の Blc200Config フォルダから Blc200Config.exe ファイル及び BLC200ConfigHelp.chm をコピーします。
- 以上でインストールは終了です。

2 起動と終了

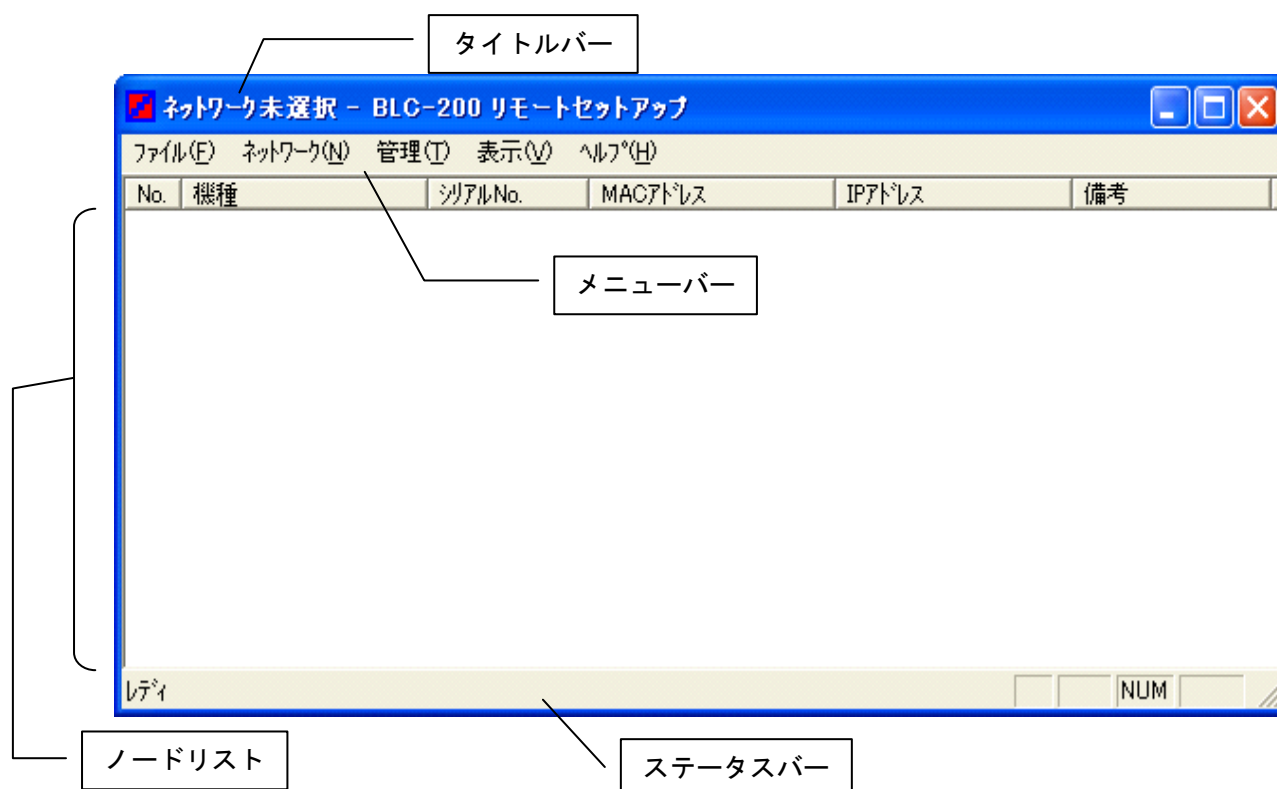
本章では、本ツールの起動と終了方法、および本ツールの画面構成について説明します。

2-1 「BLC-200 リモートセットアップ」の起動と終了

「BLC-200 リモートセットアップ」を起動する



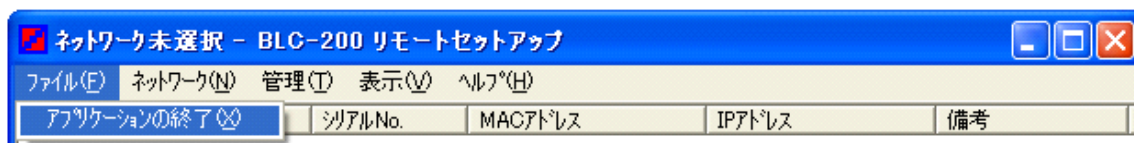
- ① Windows を起動し、エクスプローラを開きます。
- ② 作成された「Blc200Config」フォルダを開きます。
- ③ 「Blc200Config.exe」ファイルをダブルクリックします。
- ④ 起動すると以下の画面が表示されます。



■ 「BLC-200 リモートセットアップ」起動時の画面

「BLC-200 リモートセットアップ」を終了する

- ① <ファイル>－<アプリケーションの終了>を選択します。

**■「アプリケーションの終了」メニュー****注意：ノードリスト情報ファイル**

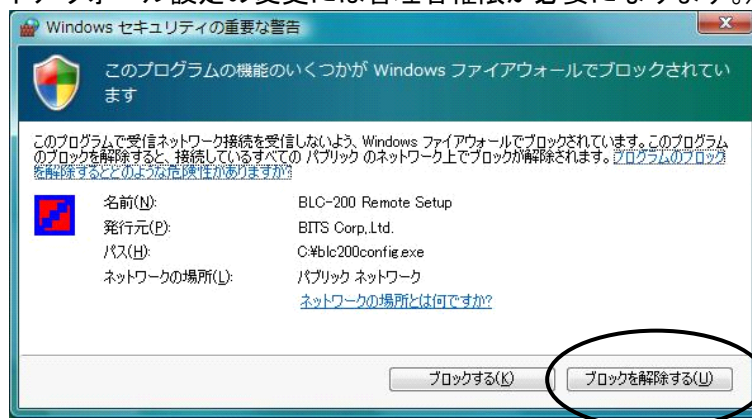
本ツールを終了すると、本ツールが格納されているフォルダ内に Blc200Config.dat ファイルが作成されます。Blc200Config.dat 内には、ノードリスト内の BLC-200 の情報が保存されていますので、Blc200Config.dat の内容の変更やファイルの削除をしないでください。

注意：Windows XP / Windows Vista / Windows 7 ファイアウォール機能

Windows XP / Windows Vista / Windows 7 のファイアウォール機能が有効に設定されていると BLC-200 との通信が正常に行えない場合があります。この場合は、一時的にファイアウォール機能を無効に設定するか、「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログが表示されたときに「ブロックを解除する」ボタンを選択して、本ツールをご使用ください。

「ブロックを解除する」を選択すると、ファイアウォール設定の「例外」対象に設定され以降の起動時には警告ダイアログが表示されなくなります。

(ファイアウォール設定の変更には管理者権限が必要になります。)

**注意：Windows Vista / Windows 7 での実行上の注意**

本ツールを Windows Vista / Windows 7 上で実行する場合は、管理者権限が必要です。

2-2 メインウィンドウ

タイトルバー

現在選択されているネットワーク名が表示されます。ネットワーク登録がされていない場合は、「ネットワーク未選択」と表示されます。

メニューバー

メニューバーには本ツールの操作メニューが表示されます。各項目をクリックすると、プルダウンメニューにより詳細メニューが表示されます。詳細メニューの各項目をクリックすると操作が実行されます。

ノードリスト

<検索>または<新規登録>によって登録されたBLC-200の情報が表示されます。また、ノードリスト上のBLC-200をクリックすると反転表示となり、選択状態になります。

- No.
自動で付けられる連続番号です。
- 機種
BLC-200の機種名です。
- シリアル No.
BLC-200 本体に明記されている番号です。本ツールでは利用しないため設定は必須ではありません。<管理>—<プロパティ>でご自由に設定し、BLC-200の管理に役立ててください。
- MAC アドレス
BLC-200の持つ固有のアドレスです。変更はできません。
- IP アドレス
BLC-200に割り当てられたIPアドレスです。
本欄に[192.168.200.254]が表示されている場合、IPアドレスが初期値であることを示します。
- 備考
BLC-200に対するコメントです。「シリアル No.」同様、本ツールでは利用しません。ご自由に設定し、BLC-200の管理に役立ててください。

ソート機能

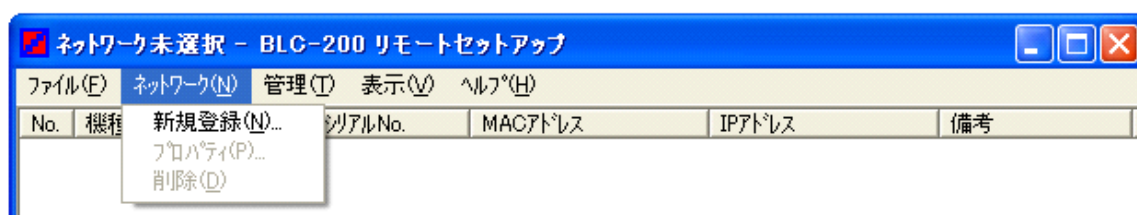
「No.」「機種」「シリアル No.」「MAC アドレス」「IP アドレス」「備考」の各カラムをクリックすると、項目別に並び替えることができます。各カラムをクリックするごとに昇順・降順が切り替わります。起動時および<管理>—<検索>終了後は「No.」の昇順に表示されています。

ステータスバー

ステータスバーには、現在本ツールが行っている作業についての情報が表示されます。なにも作業を行っていない場合は、「レディ」を表示しています。

3 ネットワーク

本章では、本ツールでセットアップを行うために必要となるネットワーク登録について説明します。



■「ネットワーク」 - 「新規登録」メニュー

3-1 ネットワーク登録について

本ツールで検索、設定、モード変更などセットアップ動作を行う前には、ネットワーク登録をしておく必要があります。ネットワーク登録は、本ツールを使用するネットワーク環境の設定登録ですので、正確な値が設定されていない場合、セットアップ機能が正常に動作しないことがあります。

3-2 ネットワークの新規登録

本ツールを使用するネットワークの情報を設定します。



■「ネットワークの新規登録」ダイアログ

ネットワーク名

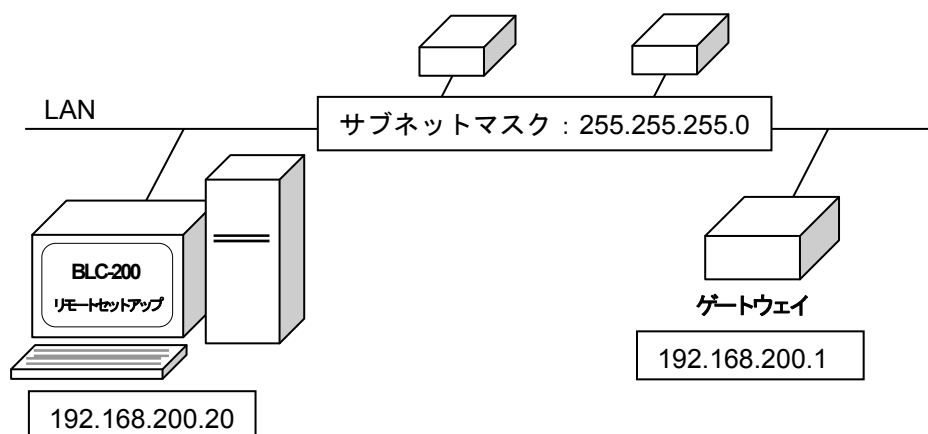
登録をするネットワークの名称を設定します。ご自由にわかりやすい名前を設定してください。

サブネットマスク

本ツールを使用するネットワークのサブネットマスクを指定します。わからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。上記ダイアログ内の値は、下図「接続例：BLC-NETWORK」に接続する場合の設定値です。

ゲートウェイアドレス

本ツールを使用するネットワークのゲートウェイ IP アドレスを指定します。わからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。上記ダイアログ内の値は、下図「接続例：BLC-NETWORK」に接続する場合の設定値です。



■「接続例：BLC-NETWORK」

●アドレスの入力

アドレス（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の入力は、0～255 の数値を ‘.’ で 4 つに区切って入力します。

入力例：192.168.200.180

3-3 プロパティ

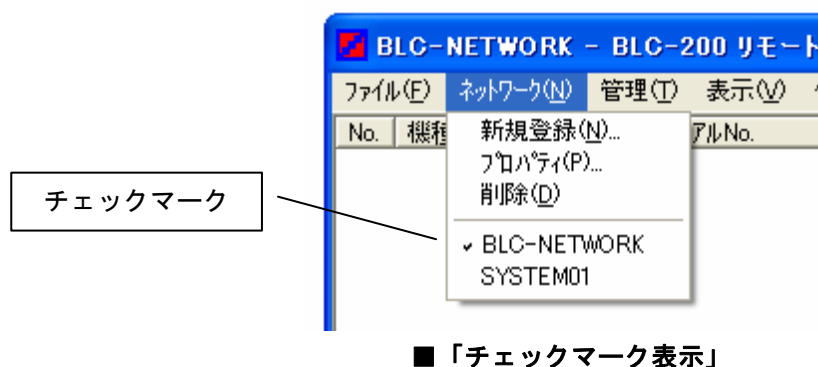
現在選択しているネットワークの設定が表示されます。設定値の変更をすることはできません。設定値を変更する場合は、＜ネットワーク＞の＜削除＞をしてから再度＜新規登録＞をしてください。

3-4 削除

現在選択しているネットワークの情報を削除します。削除したネットワークに登録されていた BLC-200 の情報も全て削除されます。ただし、BLC-200 本体のパラメータは変更されません。

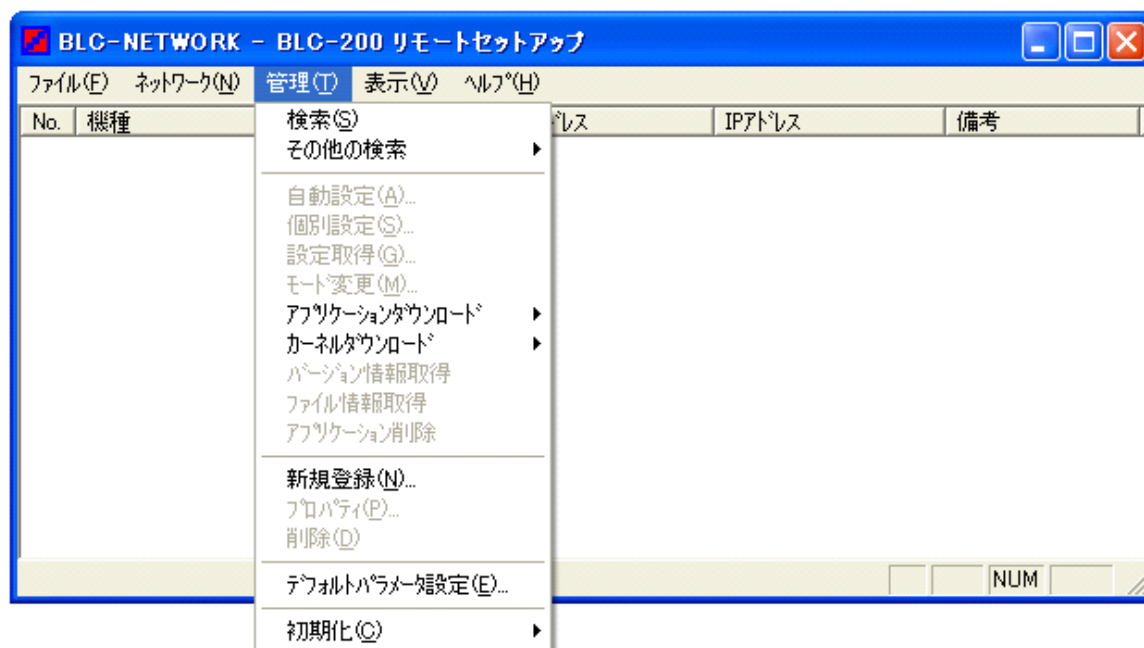
3-5 ネットワークの選択

登録したネットワークは、＜ネットワーク＞メニュー内にネットワーク名が一覧表示されます。現在選択しているネットワークの先頭にチェックマークが表示され、別のネットワークをクリックするとネットワークが変更されます。また、同時にノードリストの内容も入れ替わります。



4 管理

本章では、BLC-200 の検索、パラメータの設定・取得、ファイルのダウンロード、アプリケーションの削除の方法を説明します。BLC-200 の管理を行うためには、ネットワークの登録を行っておく必要があります。必ず事前にネットワーク登録をしてください。

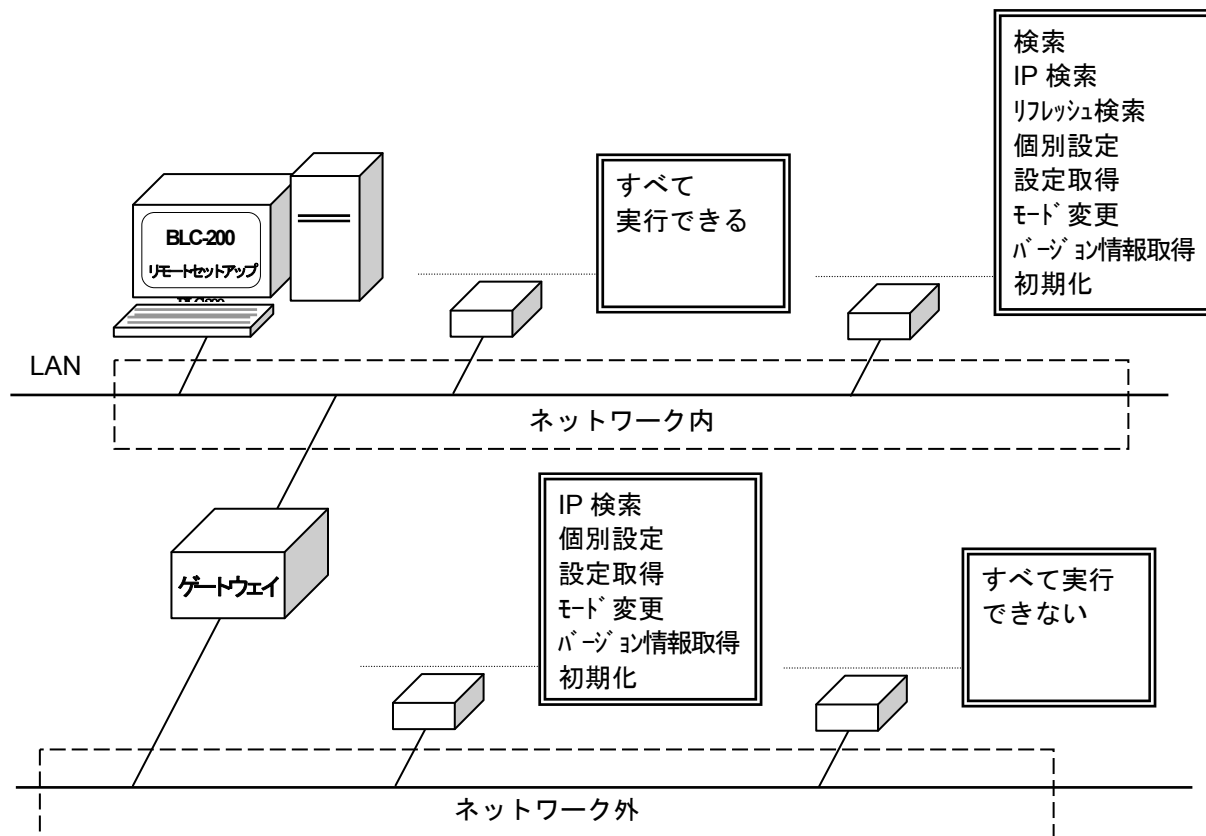


■「管理」メニュー

4-1 実行可能な操作について

管理の操作は、ネットワークの内と外、IP アドレスの設定と未設定の違いにより、実行できるものが異なります。また、＜検索＞以外はノードリストに登録されていることが前提となります。ノードリストへの登録は、＜検索＞または＜新規登録＞をします。

以下に BLC-200 の接続状態別実行可能操作の一覧を示します。

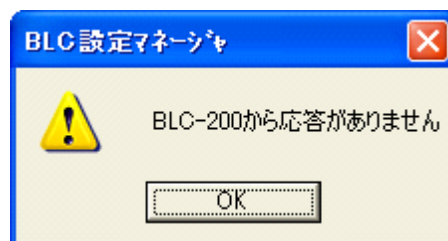


■BLC-200 の接続状態別実行可能操作一覧

4-2 レスポンスとタイムアウトについて

本ツールは、各設定操作が選択されると LAN 上にコマンドを送信し、コマンドに対する応答を BLC-200 より受信した時点で設定完了となります。一定時間内に応答を受信できなかった場合、以下のエラーメッセージが表示されます。

なお、応答監視タイマの設定値は、デフォルトパラメータの保存用ファイル (DefParam.ini) 内に存在し、変更することができます。設定の詳細は、「7 応答監視タイマの設定」を参照してください。



■ 「タイムアウト表示」

4-3 検 索

同一ネットワーク内にある BLC-200 の検索をします。

新規に検索された BLC-200 は、ノードリストに追加されます。すでにノードリストに存在している BLC-200 は、ノードの情報が更新されます。ノードリストに表示されている BLC-200 で検索に対する応答がなかった場合でも、ノードリストからは削除されません。

＜検索＞を行っている間はステータスバーに「ノード検索中」と表示され、その他の操作は受け付けません。ネットワーク上の BLC-200 の接続数や応答監視タイマの設定により、検索が終了するまでしばらく時間がかかることがあります。



■ 「ノード検索中」画面

4-4 その他の検索

(1) リフレッシュ検索

同一ネットワーク内にある BLC-200 の検索をします。

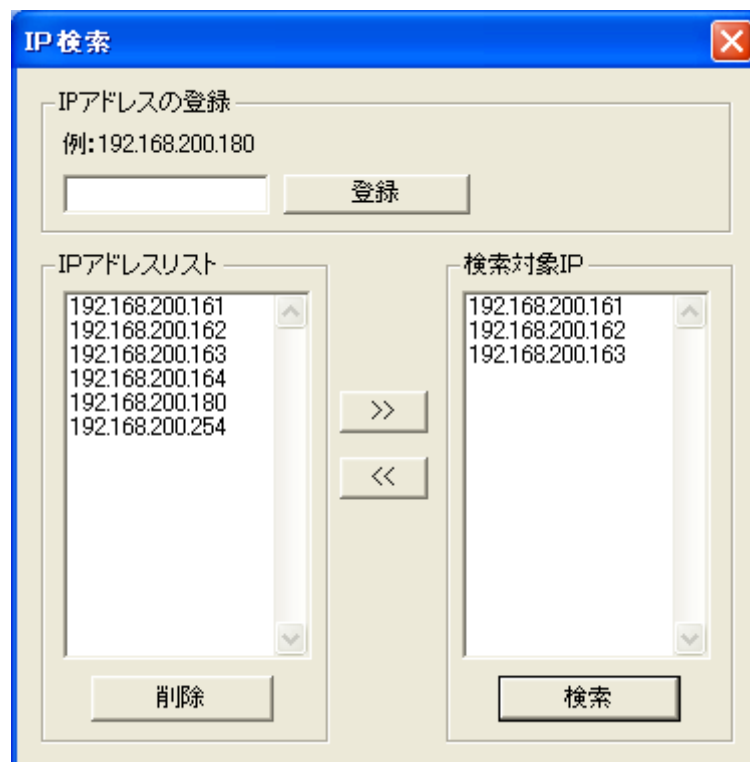
＜検索＞と違い、表示されているノードリストをすべて削除した後に検索を行います。検索に対する応答を受信した BLC-200 のノードリストを作成します。

(2) IP検索

指定した IP アドレスの BLC-200 を検索します。

＜管理＞－＜その他の検索＞－＜IP 検索＞を選択すると「IP 検索」ダイアログが表示されます。「IP 検索」ダイアログ内の「検索対象 IP」リスト内に登録されている IP アドレスすべてに検索コマンドを送信します。検索された BLC-200 は、＜検索＞と同様にノードリスト上に追加されます。IP アドレス指定による検索のため、ネットワーク外に存在する BLC-200 を検索することが可能です。

「IP 検索」ダイアログ内の「IP アドレスリスト」および「検索対象 IP」のデータは、ファイルに保存され、再起動時に自動的にロードします。



■ 「IP 検索」ダイアログ

IP アドレスの登録

「IP アドレスリスト」に新規 IP アドレスを追加します。エディットボックス内に IP アドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックすると「IP アドレスリスト」に追加されます。

IP アドレスリスト

＜IP 検索＞をする IP アドレスを選択し [>>] ボタンをクリックすると「検索対象 IP」に追加されます。[削除] ボタンをクリックすると「IP アドレスリスト」から削除されます。

検索対象 IP

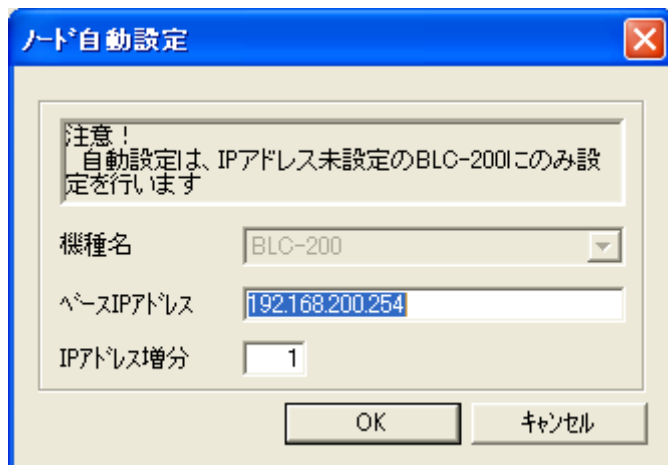
＜IP 検索＞をする IP アドレスを表示します。IP アドレスを選択し [<<] ボタンをクリックすると「検索対象 IP」から削除されます。

[検索] ボタンをクリックすると「検索対象 IP」内のすべての IP アドレスの検索を実行します。

4-5 自動設定

ネットワーク内に存在するIPアドレスが初期値のBLC-200に対して、IPアドレスの設定を一括して行ないます。指定した機種に対して、IPアドレスを「ベースIPアドレス」および「IPアドレス増分」より算出し、その他の設定パラメータは指定機種のデフォルトパラメータの内容を設定します。デフォルトパラメータに関しては、「4-16 デフォルトパラメータ設定」を参照してください。

<管理>—<自動設定>を選択すると「ノード自動設定」ダイアログが表示されます。



■ 「ノード自動設定」ダイアログ

機種名

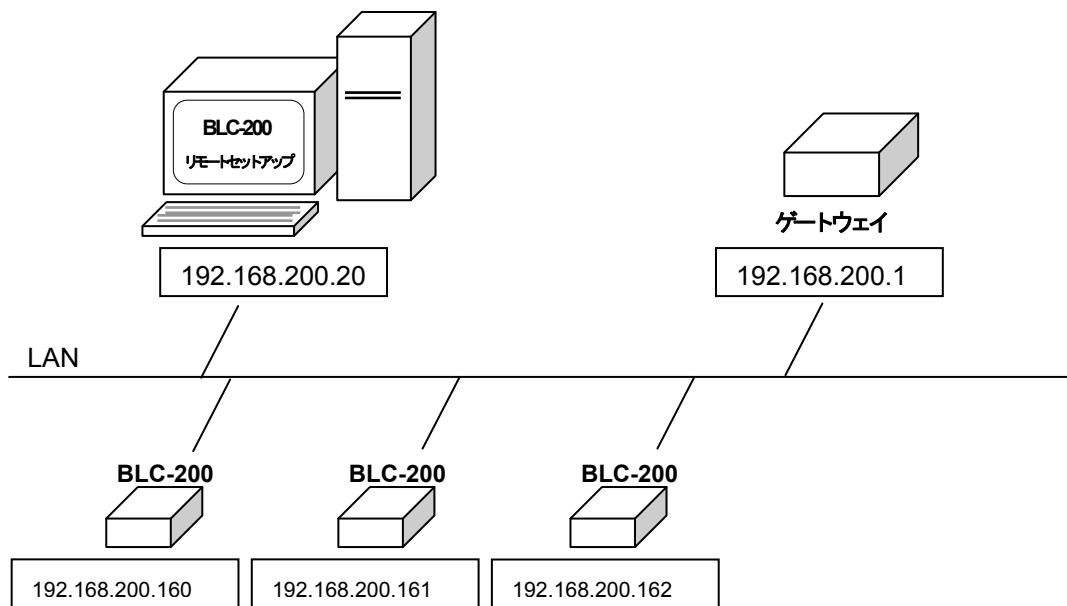
自動設定をする機種名を指定します。

ベース IP アドレス

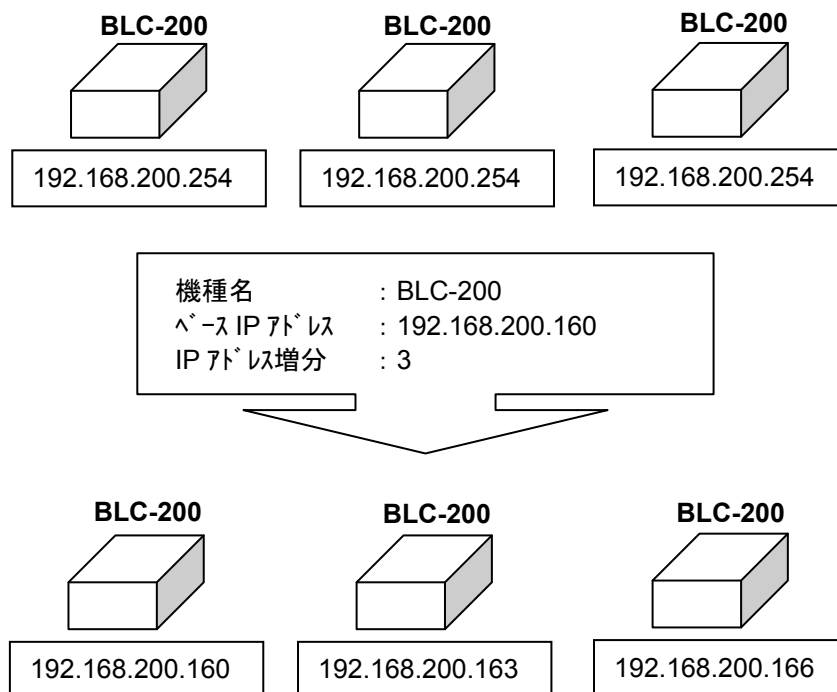
自動設定により BLC-200 に設定される IP アドレスの初期値です。2 台目以降の BLC-200 に対しては、この値をベースに「IP アドレス増分」を加算して算出します。

IP アドレス増分

「ベース IP アドレス」への増加分を指定します。増加した値がノードリスト内の他の BLC-200 と一致した場合は、一致しない値になるまで加算を繰り返します。



■ネットワークポロジ



■「自動設定」実行例

4-6 個別設定

ノードリストで選択されている BLC-200 に対して個別設定をします。

＜管理＞－＜個別設定＞を選択すると「BLC-200 シリーズの設定」ダイアログが表示されます。IP アドレス以外の設定値は、デフォルトパラメータが初期値としてセットされています。[送信] ボタンをクリックすると個別設定が実行されます。選択した BLC-200 がネットワーク外に存在している場合は、実行前に [ネットワーク外] チェックボックスをオンにしてください。

BLC-200シリーズの個別設定

LAN設定

自IPアドレス: 192.168.200.1 通信プロトコル: 無効
 自ポート番号: 257 無通信監視タイマ: 0
 宛先IPアドレス: 2.2.2.2 ユーザ名:
 宛先ポート番号: 514 パスワード:
 サブネットマスク: 255.255.255.0 ファイルターミナル:
 ゲートウェイアドレス: 2.2.2.2 オートネゴシエーション: 自動
 キープアライフタイマ: 0 MTU値: 1500
 コネクトタイマ: 2

シリアル設定

回線速度: 9,600bps
 データ長: 8ビット
 ストップビット: 1ビット
 パリティ: なし
 フロー制御: なし
 コネクション情報通知: 無効
 コネクション監視: 無効
 アイドルタイマ: 0
 ループバックターミナル:

システム設定

LANデフォルトプロトコル: FtpSv
 RSデフォルトプロトコル: Serial
 BOOTP有効フラグ: 無効
 DHCP有効フラグ: 無効
 起動プログラム名: 設定画面
 拡張設定項目: 設定画面
 SNMP設定: 設定画面

「設定画面」ボタン ☐ ネットワーク外 送信 キャンセル

■ 「BLC-200 シリーズの個別設定」ダイアログ

設定画面

[設定画面] ボタンをクリックすると各設定のダイアログが表示されます。
 [OK] ボタンをクリックすると「BLC-200 シリーズの個別設定」ダイアログに戻ります。

起動プログラム名設定

起動プログラム名 1		起動プログラム名 9	
起動プログラム名 2		起動プログラム名 10	
起動プログラム名 3		起動プログラム名 11	
起動プログラム名 4		起動プログラム名 12	
起動プログラム名 5		起動プログラム名 13	
起動プログラム名 6		起動プログラム名 14	
起動プログラム名 7		起動プログラム名 15	
起動プログラム名 8		起動プログラム名 16	

OK キャンセル

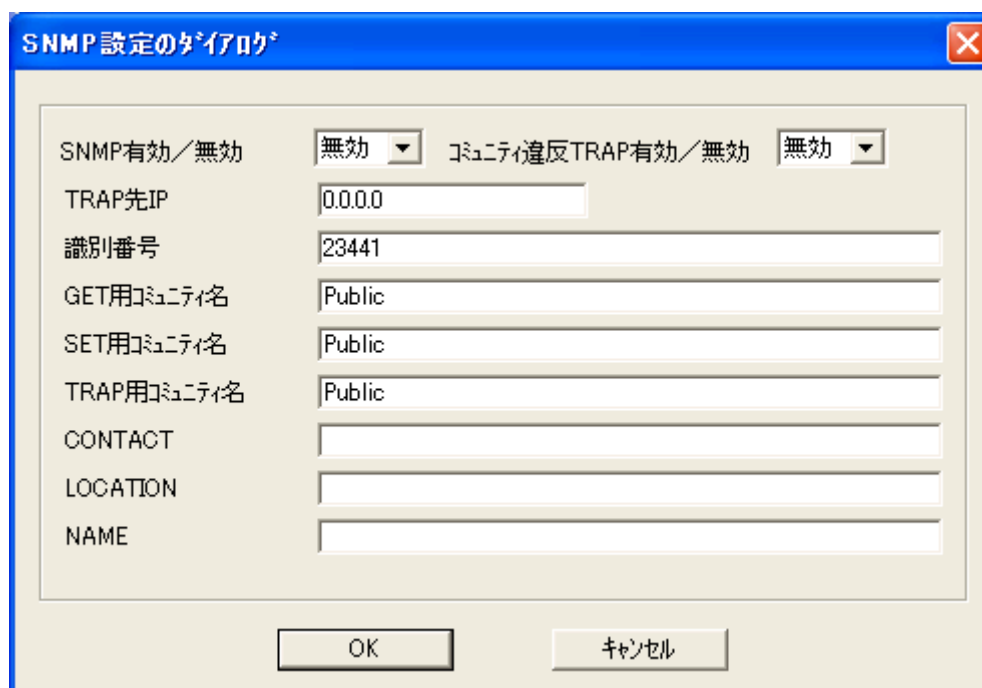
■「起動プログラム名設定」ダイアログ

拡張設定項目のダイアログ

送受信イーサネット制御切り替え	1, TXE
送信前無通信検出時間	0
エラーチェック	OFF
XON/XOFFコード	11, 13
拡張回線速度	
制御線入力	DTR, IN
ソフトウェアフロー制御タイマ	0
汎用設定レジスタ	

OK キャンセル

■「拡張設定項目のダイアログ」



The image shows a Windows-style dialog box titled "SNMP 設定のダイアログ" (SNMP Settings Dialog). It has a blue title bar with a close button (X) in the top right corner. The main area is a light beige rectangle containing several settings. At the top, there are two dropdown menus: "SNMP有効/無効" (SNMP Enabled/Disabled) and "コミュニティ違反TRAP有効/無効" (Community Violation TRAP Enabled/Disabled), both currently set to "無効" (Disabled). Below these are several text input fields: "TRAP先IP" (TRAP Destination IP) with the value "0.0.0.0", "識別番号" (Identifier Number) with "23441", "GET用コミュニティ名" (GET Community Name) with "Public", "SET用コミュニティ名" (SET Community Name) with "Public", and "TRAP用コミュニティ名" (TRAP Community Name) with "Public". At the bottom of the main area are three empty text input fields labeled "CONTACT", "LOCATION", and "NAME". At the very bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

SNMP有効/無効	無効	コミュニティ違反TRAP有効/無効	無効
TRAP先IP	0.0.0.0		
識別番号	23441		
GET用コミュニティ名	Public		
SET用コミュニティ名	Public		
TRAP用コミュニティ名	Public		
CONTACT			
LOCATION			
NAME			

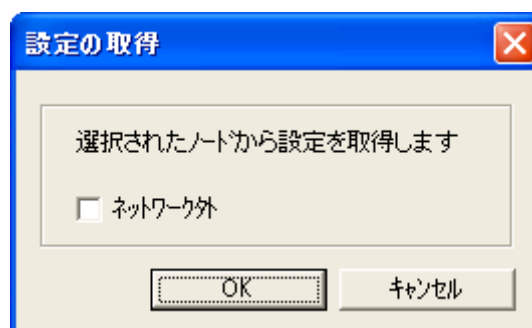
OK キャンセル

■ 「SNMP 設定のダイアログ」

4-7 設定取得

ノードリストで選択されている BLC-200 の、現在の設定状況を取得します。

＜管理＞－＜設定取得＞を選択すると「設定の取得」ダイアログが表示されます。指定した BLC-200 がネットワーク外に存在する場合は、[ネットワーク外] チェックボックスをオンにしてから [OK] ボタンをクリックしてください



■ 「設定の取得」ダイアログ

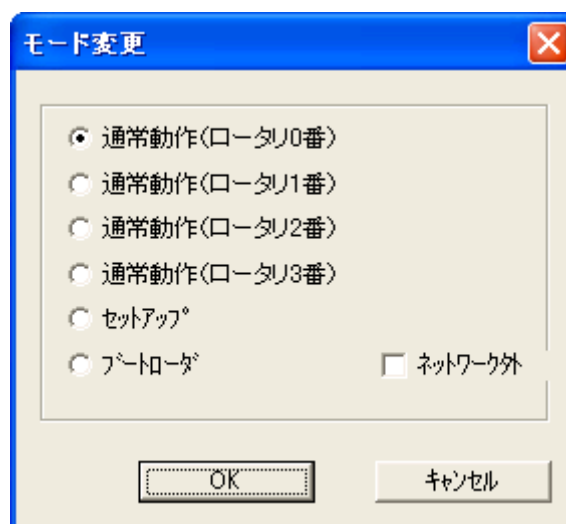
設定取得後、「BLC-200 シリーズの設定取得」ダイアログが表示されます。取得した内容を変更し [送信] ボタンをクリックすると、再設定をすることができます。「BLC-200 シリーズの設定取得」ダイアログの詳細は、「4-6 個別設定」を参照してください。

4-8 モード変更

ノードリストで選択されている BLC-200 の、動作モードの変更を行い、BLC-200 を再起動します。

＜管理＞－＜モード変更＞を選択すると「モード変更」ダイアログが表示されます。変更したい動作モードをクリックし、[OK] ボタンをクリックします。変更する BLC-200 がネットワーク外に存在している場合は、[ネットワーク外] チェックボックスをオンにしてください。

本ツールでモード変更をした場合、変更した装置のロータリスイッチと実際の動作モードが異なることになりますので注意してください。



■ 「モード変更」ダイアログ

4-9 アプリケーションダウンロード

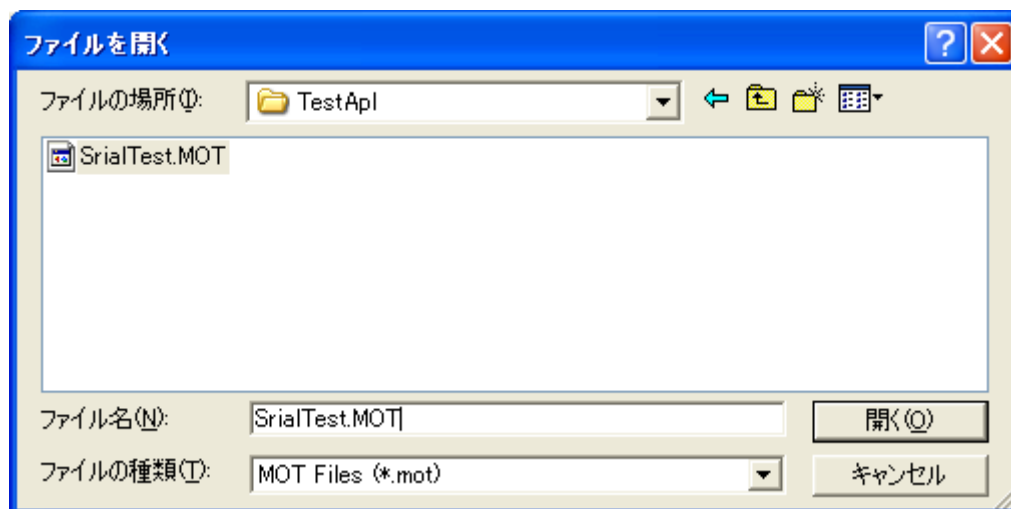
(1) 個別

ノードリストで選択されている BLC-200 に対し、アプリケーションのダウンロードをします。ダウンロードは **FTP** によりファイルのダウンロードをします。そのため、指定した BLC-200 の IP アドレスが現在のネットワーク環境に対応した値に設定されていることが前提となります。

＜管理＞－＜アプリケーションダウンロード＞－＜個別＞を選択すると、指定した BLC-200 を動作モード「セットアップ」で再起動します。

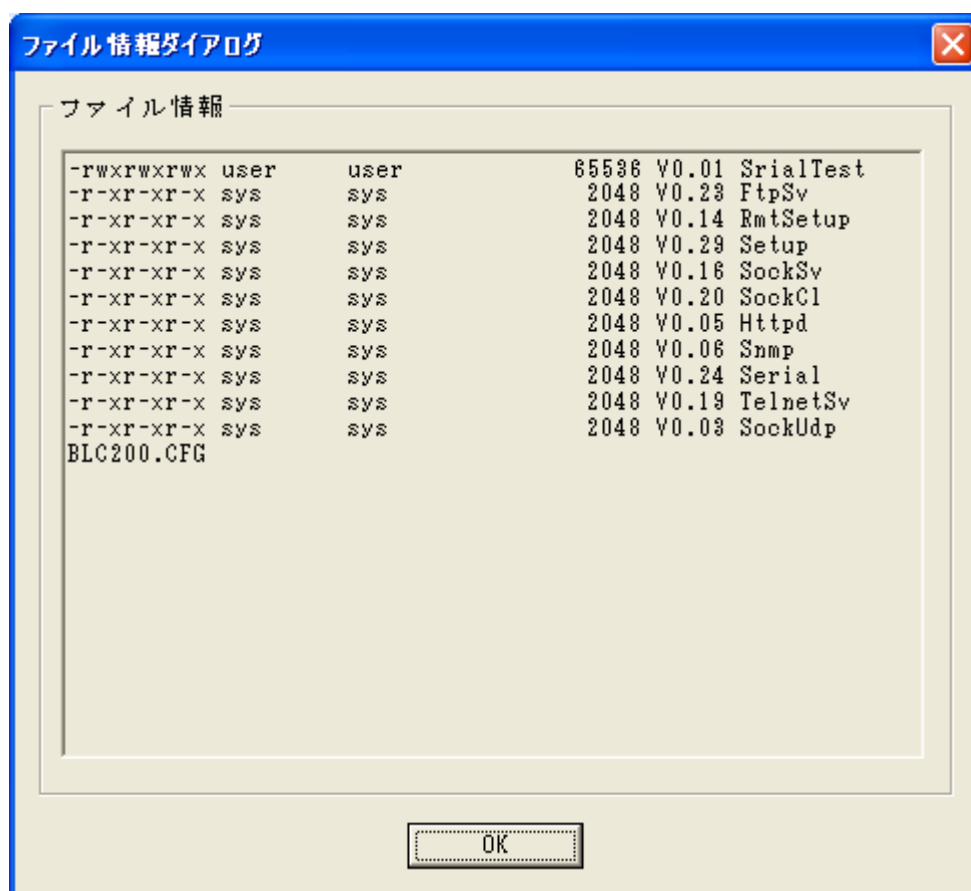
再起動が正常終了すると「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。ダウンロードをするファイルを選択し「開く」ボタンをクリックするとダウンロードを開始します。

ダウンロード中は、「ダウンロード中です」と表示し、終了するまでその他の処理は受け付けません。ダウンロードするファイルのサイズによっては、終了までしばらく時間がかかることがあります。



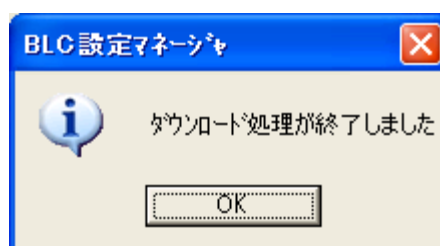
■ 「ファイルを開く」ダイアログ

ダウンロードが完了すると「ファイル情報ダイアログ」が表示されます。



■ 「ファイル情報ダイアログ」

[OK] ボタンをクリックすると「ダウンロード終了」ダイアログが表示され、BLC-200 を「通常動作モード」で再起動します。

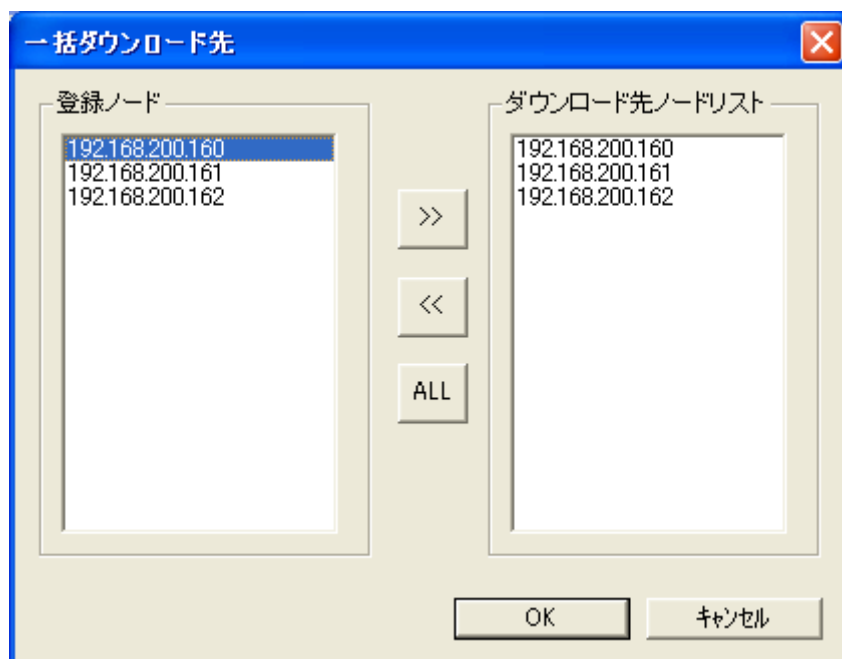


■ 「ダウンロード終了」ダイアログ

(2) 一括

選択された複数の BLC-200 に対し、アプリケーションのダウンロードをします。

＜管理＞－＜アプリケーションダウンロード＞－＜一括＞を選択すると、「一括ダウンロード先」ダイアログが表示されます。



■ 「一括ダウンロード先」ダイアログ

登録ノード

ノードリストに登録されている IP アドレスが表示されます。ダウンロードをする IP アドレスを選択し [>>] ボタンをクリックすると「ダウンロード先ノードリスト」に追加されます。[ALL] ボタンをクリックすると「登録ノード」のすべての IP アドレスが「ダウンロード先ノードリスト」に追加されます。

ダウンロード先ノードリスト

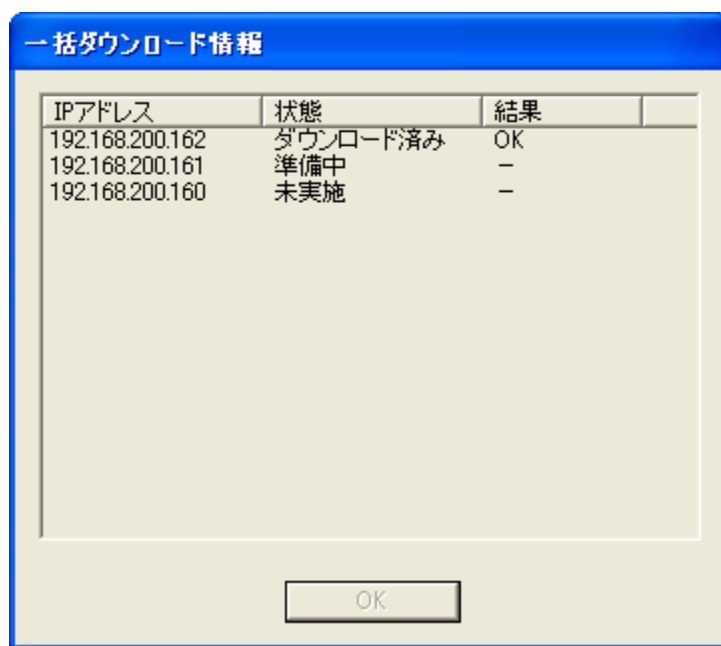
一括ダウンロードをする IP アドレスを表示します。IP アドレスを選択し [<<] ボタンをクリックすると「ダウンロード先ノードリスト」から IP アドレスが削除されます。

「ダウンロード先ノードリスト」を作成し [OK] ボタンをクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。ダウンロードするファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックすると、ダウンロード先を確認するダイアログが表示されます。ダウンロード先 IP アドレスの確認をして、[OK] ボタンをクリックしてください。



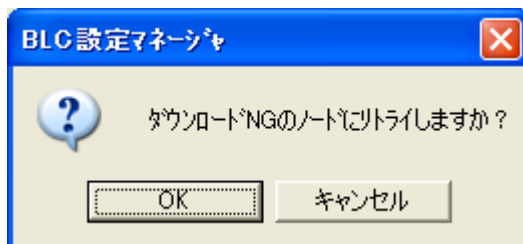
■「ダウンロード先 IP アドレス確認」ダイアログ

ダウンロード中は「一括ダウンロード情報」ダイアログが表示され、ダウンロード状況を確認することができます。



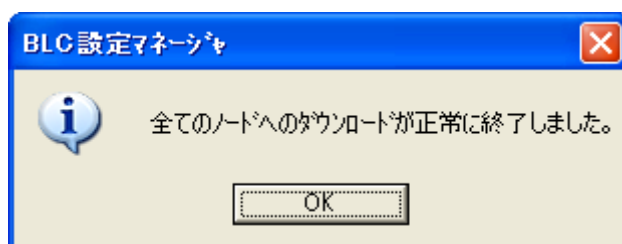
■「一括ダウンロード情報」ダイアログ

ダウンロードが異常終了した BLC-200 があるときは、下記のダイアログが表示されます。リトライをする場合は [OK] ボタンをクリックしてください。リトライはダウンロードが異常終了した BLC-200 のみに行います。



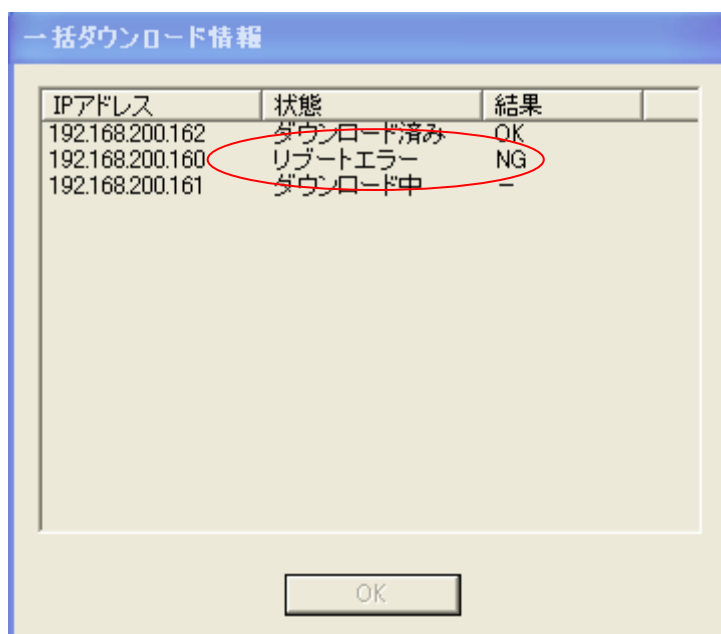
■ 「リトライ確認」ダイアログ

ダウンロードが終わると「ダウンロード終了」ダイアログが表示されます。



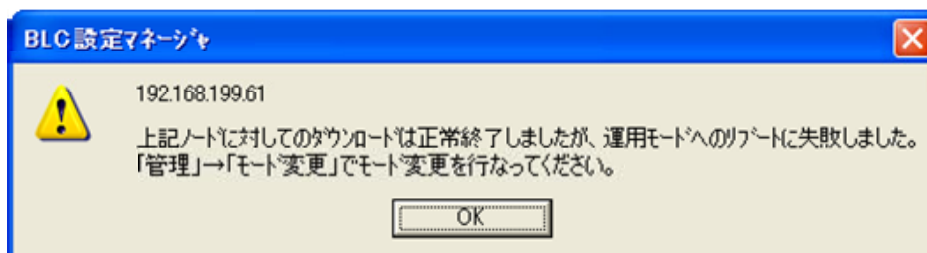
■ 「ダウンロード終了」ダイアログ

ダウンロード終了後、本ツールは BLC-200 を運用モードでリブートし、リブートが正常に終了するとダウンロード正常終了となります。ダウンロード終了後のリブートに失敗した場合、「一括ダウンロード情報ダイアログ」は以下のように表示されます。



■ 「一括ダウンロード情報ダイアログ」

ダウンロード後のリブートエラーが発生した場合、全ての BLC-200 へのダウンロード終了後、以下のメッセージが表示されます。



この場合、BLC-200 へのダウンロードは正常終了しているため、ダウンロードのリトライは行いません。

4-10 カーネルダウンロード

ノードリストで選択されている BLC-200 に対し、カーネルのダウンロードをします。

注意：カーネルの更新

＜カーネルダウンロード＞は、システムをアップグレードする場合のみに実行してください。誤って実行すると BLC-200 が正常に起動できない恐れがあります。

(1) 個 別

＜管理＞－＜カーネルダウンロード＞－＜個別＞を選択します。

操作方法は、アプリケーションダウンロードの＜個別＞と同じです。

(2) 一 括

＜管理＞－＜カーネルダウンロード＞－＜一括＞を選択します。

操作方法は、アプリケーションダウンロードの＜一括＞と同じです。

4-11 バージョン情報取得

ノードリストで選択されている BLC-200 の、ブート、カーネル、アプリケーション情報を取得します。

＜管理＞－＜バージョン情報取得＞を選択すると「バージョン情報」ダイアログが表示されます。「アプリケーション情報」に表示される情報はユーザアプリケーションのみで、システムアプリケーションは表示されません。システムアプリケーション情報を取得したい場合は、＜ファイル情報取得＞をしてください。

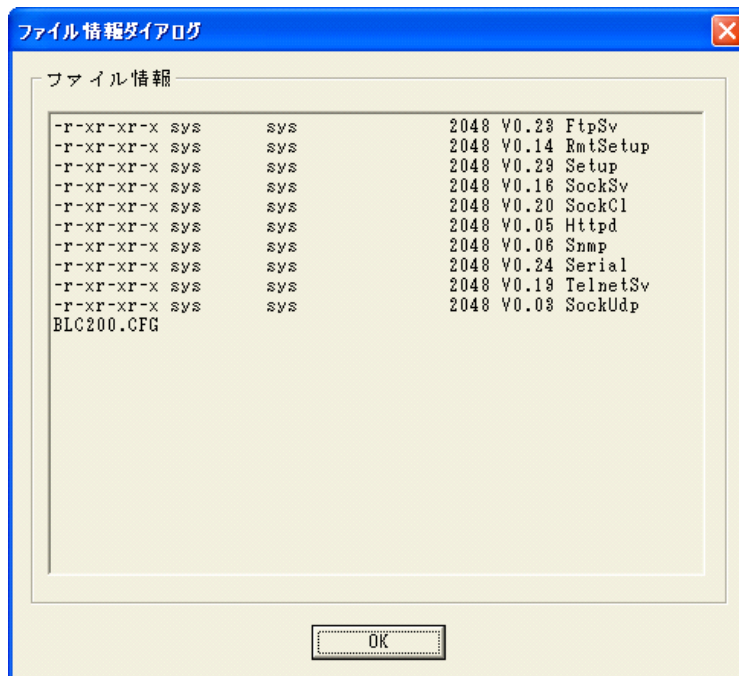
バージョン情報		
システム情報		
ボードID:	BLC-200	
カーネルバージョン:	1.00	ブートバージョン: 1.00
アプリケーション情報		
アプリケーション名	バージョン	セクタ数
OK		

■ 「バージョン情報」ダイアログ

4-12 ファイル情報取得

ノードリストで選択されている BLC-200 の、搭載アプリケーション、CFG ファイル情報を取得します。

＜管理＞－＜ファイル情報取得＞を選択すると「ファイル情報ダイアログ」が表示されます。



■「ファイル情報ダイアログ」

表示内容

表示項目は左から、パーミッション、所有者、所有者グループ、プログラムサイズ、プログラムバージョン、プログラム名となります。

各項目の意味は以下の通りです。

パーミッション

「rwxrwxrwx」はユーザから全ての操作が可能であることを示します。

「r-xr-xr-x」はユーザから書き込み以外の操作が可能であることを示します。

所有者・所有者グループ

「user」はユーザアプリケーションであることを示します。

「sys」はシステムアプリケーションであることを示します。

プログラムサイズ

プログラムのサイズを示します。

プログラムバージョン

プログラムのバージョンを示します。

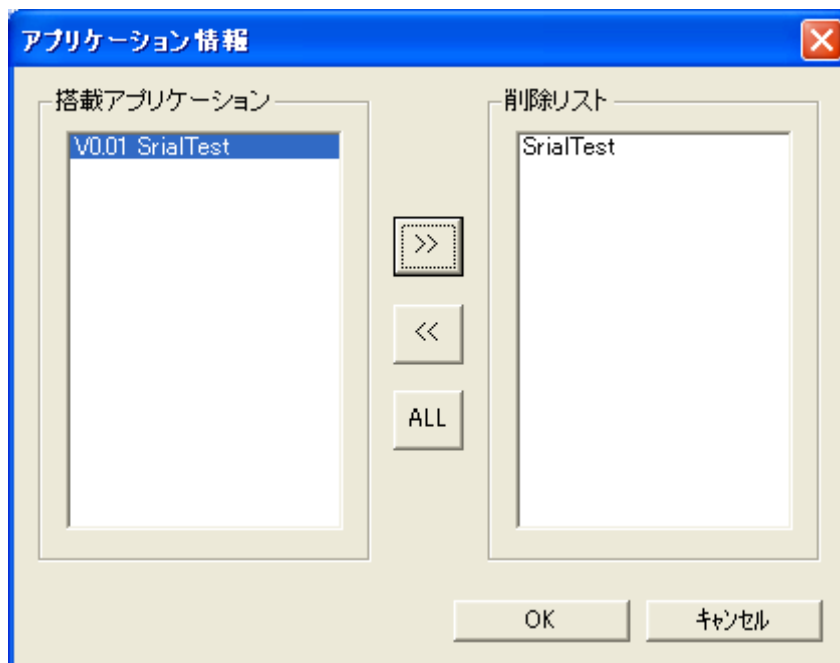
プログラム名

プログラム名を示します。起動プログラム名に指定する際に、この名前を指定します。

(1) アプリケーション削除

ノードリストで選択されている BLC-200 に搭載されているユーザアプリケーションの削除をします。

＜管理＞－＜アプリケーション削除＞を選択すると、BLC-200 のファイル情報を取得し、「アプリケーション情報」ダイアログが表示されます。



■「アプリケーション情報」ダイアログ

搭載アプリケーション

選択された BLC-200 に搭載されているユーザアプリケーションがすべて表示されます。削除したいアプリケーションを選択し [>>] ボタンをクリックすると「削除リスト」に追加されます。[ALL] をクリックすると「搭載アプリケーション」内のすべてのアプリケーションが「削除リスト」に追加されます。

削除リスト

削除するアプリケーションを表示します。アプリケーションを選択し [<<] ボタンをクリックすると「削除リスト」からアプリケーションが削除されます。

[OK] ボタンをクリックすると「削除リスト」に表示されたアプリケーションの削除をします。各アプリケーションの削除をする前に再度確認ダイアログが表示されます。指定されたすべてのアプリケーションの削除が終わると、ファイル情報を取得し「ファイル情報ダイアログ」が表示されます。

4-13 新規登録

現在選択されているネットワークのノードリストへ、新たに BLC-200 を追加します。「機種名」「MAC アドレス」「IP アドレス」は必須項目です。「シリアル番号」「備考」は必要に応じて設定してください。登録する BLC-200 の「機種名」、「MAC アドレス」、「IP アドレス」が不正確な場合、登録後の設定動作をすることができませんので注意してください。

また、ネットワーク外に存在する BLC-200 は、＜検索＞で登録できないため、＜新規登録＞で登録してください。

＜管理＞－＜新規登録＞を選択すると「ノード新規登録」ダイアログが表示されます。各項目を入力後、[OK] ボタンをクリックするとノードリストへ登録されます。

■「ノード新規登録」ダイアログ

ネットワーク名

現在選択されているネットワーク名です。変更はできません。

機種名

現在選択されている機種名です。変更はできません。

シリアル番号

必須項目ではありません。BLC-200 のシリアル番号など、ご自由に設定してください。

MAC アドレス

登録する BLC-200 に設定されている MAC アドレスを入力してください。設定値は 16 進数で 12 桁の値です。BLC-200 の設定値と登録する値が一致していないと本ツールと BLC-200 は通信できません。

IP アドレス

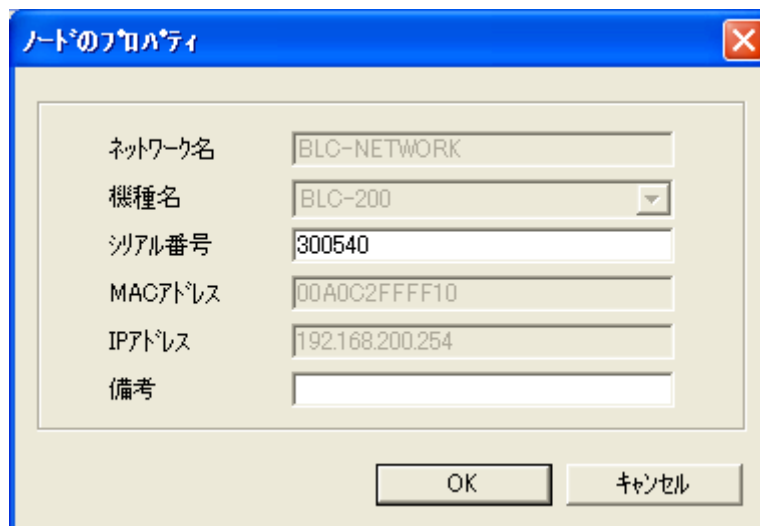
登録する BLC-200 の IP アドレスを入力してください。

備考

必須項目ではありません。ユーザが自由に設定してください。

4-14 プロパティ

＜管理＞－＜プロパティ＞を選択すると「ノードのプロパティ」ダイアログが表示されます。ノードリストで選択されている BLC-200 の設定情報が表示されます。「シリアル番号」「備考」の変更をすることができます。



■ 「ノードのプロパティ」ダイアログ

4-15 削除

ノードリストで選択されている BLC-200 の情報を削除します。BLC-200 本体のパラメータは変更されません。

4-16 デフォルトパラメータ設定

BLC-200 の機種毎のデフォルトパラメータを設定します。設定された内容は＜自動設定＞および＜個別設定＞のパラメータ初期値となります。

＜管理＞－＜デフォルトパラメータ設定＞を選択すると「デフォルトパラメータの設定」ダイアログが表示されます。

パラメータ設定後、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックすると設定値が反映されます。[OK] ボタンで終了した場合は、設定内容がファイル（DefParam.ini）に保存されます。[適用] ボタンをクリックし、[キャンセル] ボタンで終了した場合は、設定された内容はファイルに保存されず、本ツールが起動している間のみ有効になります。

■「デフォルトパラメータの設定」ダイアログ

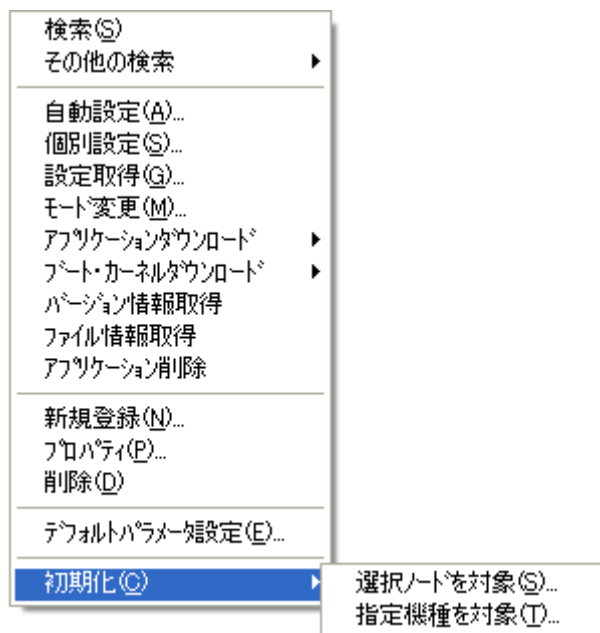
注意：本ツール内でのデフォルトパラメータ

デフォルトパラメータは本ツールにて自動設定や個別設定で扱う設定値を指します。デフォルトパラメータを変更した場合は、各 BLC-200 の工場出荷時設定と異なりますので注意してください。

4-17 初期化

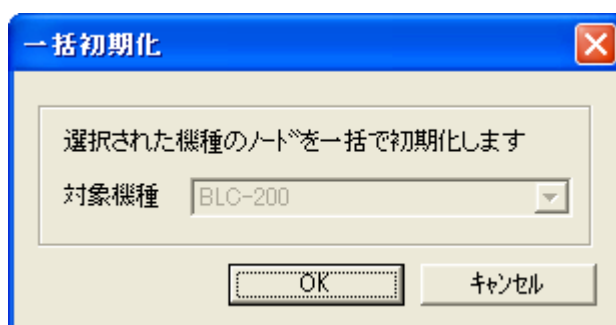
BLC-200 の起動プログラム名以外の設定を初期設定に戻します。初期化には、ノードリストで選択されている BLC-200、1 台に対して初期化する<選択ノードを対象>と、機種選択によりノードリスト内の指定機種を一括で初期化する<指定機種を対象>の 2 通りの方法があります。

<管理>—<初期化>を選択すると「初期化メニュー」が表示されます。<選択ノードを対象>または<指定機種を対象>を選択してください。



■ 「初期化」メニュー

<指定機種を対象>を選択すると「一括初期化」ダイアログが表示されます。機種をリストから選択して [OK] ボタンをクリックすると初期化が実行されます。



■ 「一括初期化」ダイアログ

注意：ネットワーク外 BLC-200 の初期化

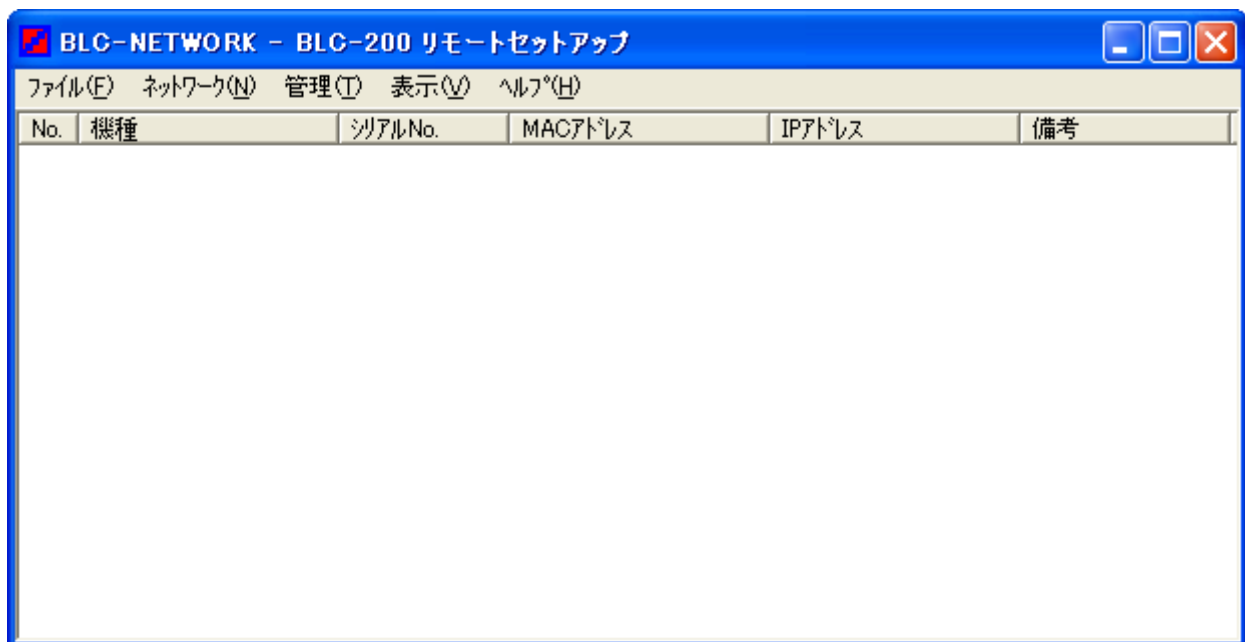
ネットワーク外の BLC-200 に対して初期化すると、初期化後の設定操作は行うことができません。

5 表 示

＜表示＞－＜ステータスバー＞を選択すると、「ステータスバー」の表示・非表示が切り替わります。「ステータスバー」が表示されているときは、＜ステータスバー＞メニューの先頭にチェックマークが表示されます。



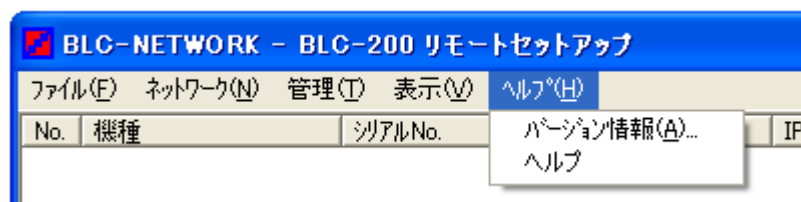
■ 「チェックマーク表示」



■ 「ステータスバー非表示」の画面

6 ヘルプ

本章では、本ツールのヘルプおよびバージョン情報の表示について説明します。



■「ヘルプ」メニュー

6-1 バージョン情報

<ヘルプ> - <バージョン情報> を選択すると、本ツールの「バージョン情報」が表示されます。



■「BLC-200 リモートセットアップのバージョン情報」

6-2 ヘルプ

<ヘルプ> - <ヘルプ> を選択すると、本ツールの「ヘルプ」が表示されます。

7 応答監視タイマの設定

トラフィックが多いネットワークなどでは、BLC-200 からの応答を受信するまでに時間がかかることがあります。その場合は、DefParam.ini ファイル内の応答監視タイマの設定値を変更することで、タイムアウトまでの時間を調節してください。

応答監視タイマは以下に示す 4 種類があり、設定値を変更した後に本ツールを再起動することで有効になります。単位はすべて [msec] です。

[Application]	
Timeout=5000	・ 標準タイマ
Timeout_AutoSet=5000	・ 自動設定用タイマ
Timeout_Initial=5000	・ 初期化用タイマ
Timeout_Search=1500	・ 検索性用タイマ

■応答監視タイマの設定項目（DefParam.ini 内）

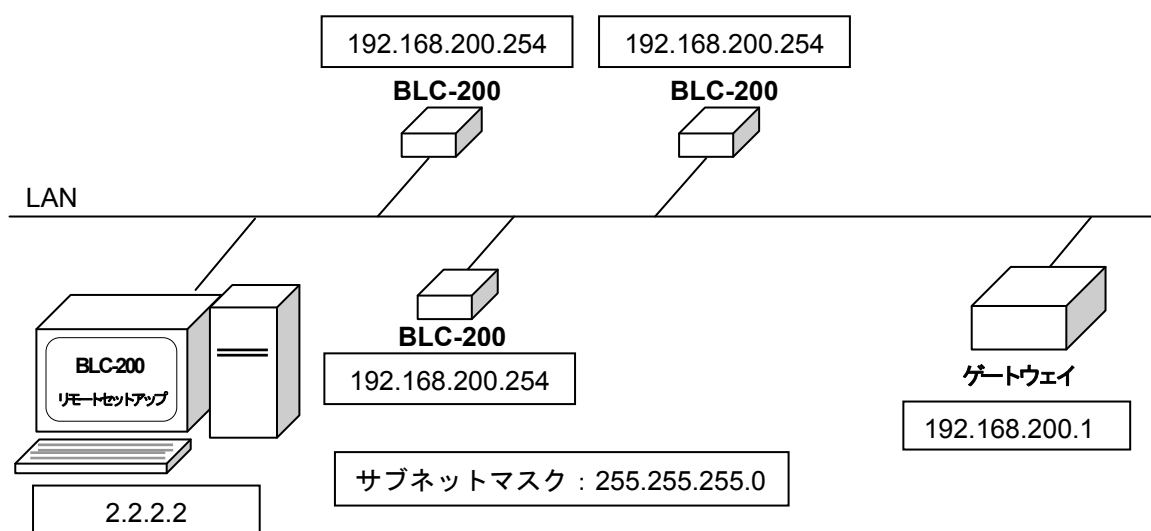
8 BLC-200 リモートセットアップの使用例

本章では、本ツールを使った簡単な使用例を紹介します。

本ツールをインストールした状態から、下図「ネットワーク構成（TEST-NET）」上に接続された IP アドレス未設定の BLC-200 へ、以下の設定内容を一括で設定します。

設定内容

IP アドレス	: 192.168.200.160～192.168.200.162
自ポート番号	: 257
宛先 IP アドレス	: 2.2.2.2
宛先ポート番号	: 514
ソフトウェア 1～3	: 0
コネクトタイマ	: 2



■ネットワーク構成（TEST-NET）

ステップ1：ネットワークの登録

設定を行う前に、本ツールを使用するネットワーク環境の登録をします。

＜ネットワーク＞－＜新規登録＞を選択し、「ネットワーク名」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」を入力します。登録が終わるとタイトルバーに登録したネットワーク名が表示されます。

ネットワークの新規登録

ネットワーク名: TEST-NET

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス: 192.168.200.1

OK キャンセル

■「ネットワークの登録」**ステップ2：ノードリストへの登録**

LAN上に接続されているBLC-200を＜検索＞を使ってノードリストに登録します。

＜管理＞－＜検索＞を選択すると、本ツールが自動的にネットワーク上のBLC-200を検索します。検索されたBLC-200は、ノードリストへ登録されます。

TEST-NET - BLC-200 リモートセットアップ

ファイル(F) ネットワーク(N) 管理(T) 表示(V) ヘルプ(H)

No.	機種	シリアルNo.	MACアドレス	IPアドレス	備考
1	BLC-200シリーズ*		00A0C2FFFF01	192.168.200.254	
2	BLC-200シリーズ*		00A0C2FFFF02	192.168.200.254	
3	BLC-200シリーズ*		00A0C2FFFF03	192.168.200.254	

レディ NUM

■「ノードリストへの登録」

ステップ3：パラメータの設定

BLC-200 へ設定するパラメータをセットします。

＜管理＞－＜デフォルトパラメータ設定＞を選択し、BLC-200 に設定する内容を入力します。

デフォルトパラメータの設定

BLC-200

LAN設定

自ポート番号 257 通信トリガフラグ 無効

宛先IPアドレス 2.2.2.2 無通信監視タイマ 0

宛先ポート番号 514 ユーザ名

コネクタイマ 2 パスワード

MTU 1500 ファイルターミネータ

オートネゴシエーション 自動 キーフアライフタイマ 0

シリアル設定

回線速度 9,600bps

データ長 8ビット

ストップビット 1ビット

パリティ なし

フロー制御 なし

レポートターミネータ

コネクション情報通知 無効

コネクション監視 無効

アイドルタイマ 0

システム設定

LANデフォルトプロトコル SockUdp

RSデフォルトプロトコル Serial

BOOTP有効フラグ 無効

DHCP有効フラグ 無効

起動プログラム名 設定画面

拡張設定項目 設定画面

SNMP設定 設定画面

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

■ 「パラメータの設定」

ステップ4：IPアドレスの一括設定

＜自動設定＞を使って3台のBLC-200へ一括で設定をします。

＜管理＞－＜自動設定＞を選択し、「機種名」「ベースIPアドレス」「IPアドレス増分」を入力します。

ノード自動設定

注意！
自動設定は、IPアドレス未設定のBLC-200にのみ設定を行います

機種名: BLC-200

ベースIPアドレス: 192.168.200.160

IPアドレス増分: 1

OK キャンセル

■「IPアドレスの一括設定」

実行すると3台のBLC-200へ設定が行われ、ノードリストの内容が更新されます。

TEST-NET - BLC-200 リモートセットアップ

ファイル(F) ネットワーク(N) 管理(T) 表示(V) ヘルプ(H)

No.	機種	シリアルNo.	MACアドレス	IPアドレス	備考
1	BLC-200シリーズ		00A0C2FFFF01	192.168.200.160	
2	BLC-200シリーズ		00A0C2FFFF02	192.168.200.161	
3	BLC-200シリーズ		00A0C2FFFF03	192.168.200.162	

ステータス: NUM

■「設定終了」



〒141-0031 東京都品川区西五反田8-11-13 五反田マークビル9階
TEL : 03-3779-2190
FAX : 03-3779-2198
E-mail : miechan@bits.co.jp
ホームページ : <http://miechan.jp>